

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公表番号】特表2005-504738(P2005-504738A)

【公表日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-007

【出願番号】特願2003-512224(P2003-512224)

【国際特許分類】

C 0 7 C	217/90	(2006.01)
A 6 1 K	31/085	(2006.01)
A 6 1 K	31/136	(2006.01)
A 6 1 K	31/353	(2006.01)
A 6 1 K	31/44	(2006.01)
A 6 1 K	31/4433	(2006.01)
A 6 1 K	31/4436	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 D	213/64	(2006.01)
C 0 7 D	311/30	(2006.01)
C 0 7 D	311/60	(2006.01)
C 0 7 D	405/04	(2006.01)
C 0 7 D	405/12	(2006.01)
C 0 7 D	405/14	(2006.01)
C 0 7 D	411/12	(2006.01)

【F I】

C 0 7 C	217/90	
A 6 1 K	31/085	
A 6 1 K	31/136	
A 6 1 K	31/353	
A 6 1 K	31/44	
A 6 1 K	31/4433	
A 6 1 K	31/4436	
A 6 1 K	31/4439	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 D	213/64	
C 0 7 D	311/30	
C 0 7 D	311/60	
C 0 7 D	405/04	
C 0 7 D	405/12	
C 0 7 D	405/14	
C 0 7 D	411/12	

## 【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年1月22日(2008.1.22)

## 【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

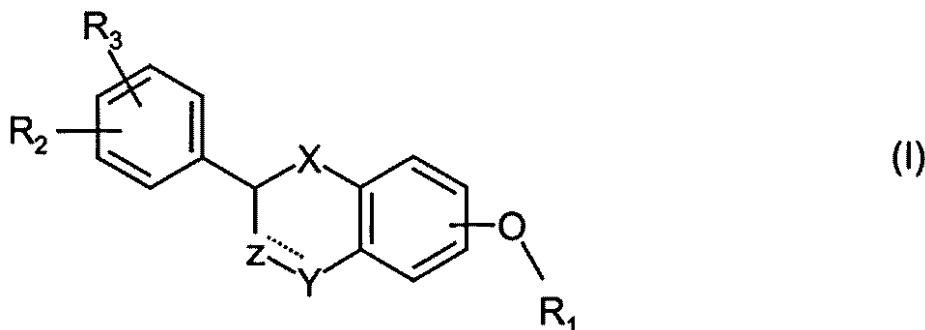
## 【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

## 【請求項1】

以下の式(I)の化合物ならびにその薬学的に許容可能な塩。

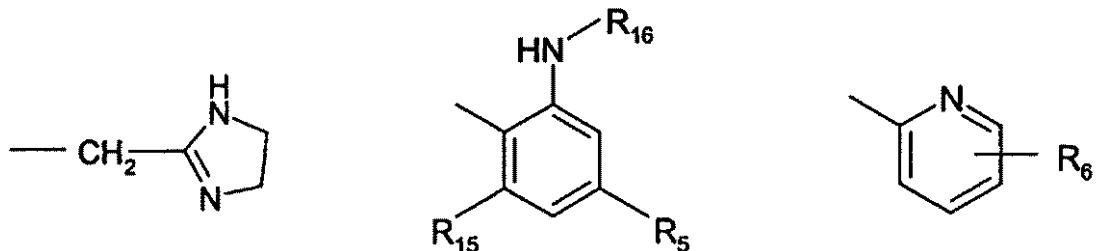
## 【化1】



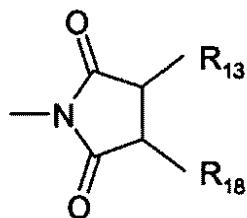
(式中、

Xは、-O-、-CH<sub>2</sub>-または-C(O)-であり、Zは、-CHR<sub>9</sub>-または原子価結合であり、Yは、-CH<sub>2</sub>-、-C(O)-、CH(OR<sub>10</sub>)-、-CH(NR<sub>11</sub>R<sub>12</sub>)-、-O-、-S-、-S(O)-または-S(O<sub>2</sub>)-であり(ただし、Zが原子価結合である場合、YはC(O)ではない)、破線は、ZおよびY間の結合が単結合または二重結合のいずれかであることを表し、破線が二重結合を表す場合、Zは-CR<sub>9</sub>-であり、Yは-CH-、-C(OR<sub>10</sub>)-または-C(NR<sub>11</sub>R<sub>12</sub>)-であり、R<sub>1</sub>は、以下の基の1つであり、

## 【化2】

R<sub>2</sub>およびR<sub>3</sub>は、独立して、H、炭素原子1~7個のアルキル、炭素原子1~7個のアルコキシ、-NO<sub>2</sub>、ハロゲン、-CF<sub>3</sub>、-OH、-NHR<sub>8</sub>、または-COOHであり、R<sub>5</sub>は、H、炭素原子1~7個のアルコキシ、-CF<sub>3</sub>、-NH<sub>2</sub>または-CNであり、R<sub>6</sub>は、-NO<sub>2</sub>、-NR<sub>14</sub>R<sub>19</sub>、-CF<sub>3</sub>または

## 【化3】



であり、

$R_8$ および $R_{16}$ は、独立して、Hまたはアシルであり、

$R_9$ は、Hまたは炭素原子1～7個のアルキルであり、

$R_{10}$ は、H、アルキルスルホニルまたはアシルであり、

$R_{11}$ および $R_{12}$ は、独立して、H、炭素原子1～7個のアルキルまたはアシルであり、

$R_{13}$ および $R_{18}$ は、独立して、Hまたは $-OR_{20}$ であり、

$R_{14}$ および $R_{19}$ は、独立して、H、アシル、アルキルスルホニル、 $C(S)NHR_{17}$ または $C(O)NHR_{17}$ であり、

$R_{15}$ は、Hまたは $NH_2$ であり、

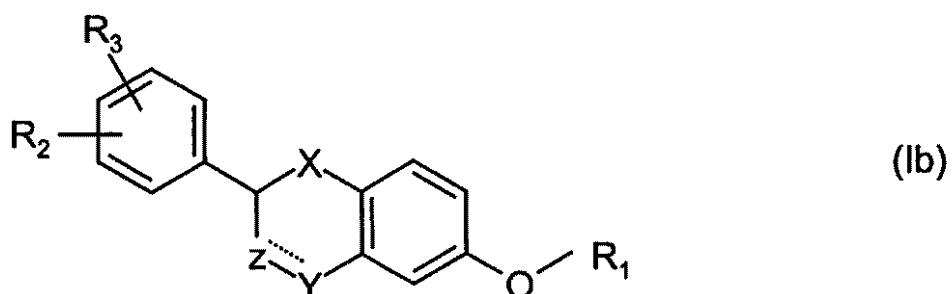
$R_{17}$ は、Hまたは炭素原子1～7個のアルキルであり、

$R_{20}$ は、Hまたはアシルである)

## 【請求項2】

請求項1記載の化合物であって、該化合物が、以下の構造式を有する化合物。

## 【化4】



(式中、 $R_2$ 、 $R_3$ 、 $X$ 、 $Y$ および $R_1$ は、以上で規定されたとおりである)

## 【請求項3】

前記XがOであり、そしてZおよびYが $-CH_2-$ である請求項1または2記載の化合物。

## 【請求項4】

前記XがOであり、Zが $-CH_2-$ であり、そしてYが $CHOH$ である請求項1または2記載の化合物。

## 【請求項5】

請求項1、2、3または4記載の化合物であって、前記 $R_1$ が以下の基の1つである化合物。

## 【化5】



**【請求項 6】**

前記  $R_6$  が、  $NO_2$  または  $-N R_{14} R_{19}$  である請求項 1、 2、 3、 4 または 5 記載の化合物。

**【請求項 7】**

前記  $R_{14}$  および  $R_{19}$  が、 独立して、  $H$ 、 アシルまたはアルキルスルホニルである請求項 6 記載の化合物。

**【請求項 8】**

前記  $R_{15}$  および  $R_{16}$  が  $H$  である請求項 1、 2、 3、 4、 5、 6 または 7 記載の化合物。

**【請求項 9】**

前記  $R_5$  が、  $H$  または 炭素原子 1 ~ 7 個のアルコキシ である請求項 1、 2、 3、 4、 5、 6、 7 または 8 記載の化合物。

**【請求項 10】**

前記  $R_2$  および  $R_3$  が、 独立して、  $H$  またはハロゲンである請求項 1、 2、 3、 4、 5、 6、 7、 8 または 9 記載の化合物。

**【請求項 11】**

前記ハロゲンが、 フッ素である請求項 10 記載の化合物。

**【請求項 12】**

薬学的に許容可能な担体と一緒に請求項 1 記載の化合物を含有する薬学的組成物。

**【請求項 13】**

治療的有効量の請求項 1 記載の化合物を含む不整脈の治療剤。

**【誤訳訂正 2】**

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 7】

(式中、

$X$  は、  $-O-$ 、  $-CH_2-$  または  $-C(O)-$  であり、

$Z$  は、  $-CHR_9-$  または原子価結合であり、

$Y$  は、  $-CH_2-$ 、  $-C(O)-$ 、  $CH(OR_{10})-$ 、  $-CH(NR_{11}R_{12})-$ 、  $-O-$ 、  $-S-$ 、  $-S(O)-$  または  $-S(O_2)-$  であり (ただし、  $Z$  が原子価結合である場合、  $Y$  は  $C(O)$  ではない)、

破線は、  $Z$  および  $Y$  間の結合が単結合または二重結合のいずれかであることを表し、 破線が二重結合を表す場合、  $Z$  は  $-CR_9-$  であり、  $Y$  は  $-CH-$ 、  $-C(OR_{10})-$  または  $-C(NR_{11}R_{12})-$  であり、

$R_1$  は、  $- (CH_2)_nNR_4R_7$  または以下の基の 1 つであり、